

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、10～19℃台を示し、平年並み～やや高めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、カタクチイワシが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の23%（前年を下回った）。五島奈留地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の19%（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり8トンの水揚げで、前週の57%（前年を下回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり155kgの水揚げで、前週の78%（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり4トンの水揚げで、前週の48%（前年を下回った）。ケンサキイカは、壱岐勝本地区では1日当たり198kgの水揚げで、前週の22%（前年を上回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり1.9トンの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり121kgの水揚げ。対馬東岸地区では、スルメイカなどが1日1統当たり179kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり29kgの水揚げで、前週の11%（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（2/16～2/18の3日間）沖合イカ釣（船凍船）は、時化の為避難。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第3-6号 五島海区のキビナゴの資源評価」を発表しました。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>